



会報 第5号
清水コミセン・パソコン教室
OB勉強会
発行責任者 北村澄子
2010年12月31日

有馬の紅葉と切手館

この秋の紅葉はどこも素晴らしかったですね。うれしくてあちこち紅葉狩りしましたが、私の一番は有馬でした。五年前に



できた「有馬切手文化博物館」は夫が中学以来の切手蒐集家でもあり、大変興味深く見学しました。郵便創業

当時の切手や戦前の切手、昭和の切手ブームのもの等々。其々の説明文も懇切丁寧で何時間でも居たい程でした。

東北地方の二棟建て蔵を移築したという建物や、入口の赤と水色の二つの今は懐かしいポスト。水色



のポストは速達用だったとは、わたしはしりませんでした・・・。

我が家のペットヒストリー

K・N

私は昔から生き物を飼うのが好きである。子ども時代は戦災や引越に追われ、そんな

余裕もなかったがこの三十年いろいろな生き物に接してきたなど思いだされる。昭和四十八年松が丘のマンションに転居して飼いだめたのがインコと文鳥。この子達の増えるにまかせ4層の鳥かごを重ねていた。インコには口笛に反応してく

れるように毎日試みたが、成果なし。文鳥には手乗りにと飼育した処、手の平で死んだように仰向けになっていたのでほくそ笑んでいると、人の気配がなくなるやさつと飛び立つ。弱いものの保身術とシートン動物記に書いてあったつけ。ある時は金魚を手からの餌付けと毎日水槽の縁を叩いてから餌を与えていた。殆ど成功かと思いい、庭に出した途端一晩で猫にやられてお別れになっ

て悲しかった。犬は最初に最後の大型犬・オールド・イングリッシュ・シープドッグである。身長、体重が殆ど私と同じだったので散歩の途中通りすがりの人は迷惑そうな表情であった。今でも我が家の会話の端々に、「あの子は、、」、「あの時は、、」と出てくる。



今は人生の先を考えて身の周りの物を虫籠や水槽、庭に放し飼いにしている。カマキリ・青虫・糞虫・川魚等々。柚子の木に揚羽蝶がくる。最初は黒い糞のようなもの、それがあつという間に葉を食べ尽す。植えて十年近くなるのにまだ花さえ付けないので毎年主人に「もう抜くぞ!」と脅しをかけられている。友人に「桃栗三年柿八年柚子の大馬鹿十八年」と言われた。私が生きていの中に香りが染しめるものかな。この夏もゴーヤのグリーンカーテンの陰にカマキリが戻ってきた。気に係る存在であったが、ゴーヤの枯れ枝を外すと茶色になったカマキリがすたこらと階段を走り去った。孫たちが帰った後、生き物は野や川に帰してやった。夏は終わった。でも来年も虫達も孫達も帰ってきて我が庭をにぎわすことである。 S・U・

とけいそうでパソコン

パソコンをもう少し使えるようになりたい、そんな思いで「とけいそう」を立ち上げて一年近くになりました。勉強会という形でいろいろ挑戦していますが、最近欠席者が多く、教室を借りられず休会した日もあり、へこんだりしています。私のリーダーシップのなさが原因でしょうか・・・。来年はもっと充実した会にしたいものです。 S・K

